

2010年度 森泰吉郎記念研究振興基金「研究育成費」研究成果報告書

研究課題名：「低層密集市街地と中高層マンション市街地の共創的都市像による高齢者救助の研究

—東京中野駅周辺の密集市街地と再開発地域を対象に—

平野奈々子

慶應義塾大学大学院 政策・メディア研究科 修士課程1年

学籍番号:81125148 ログイン名:nanako

1. 研究概要

本研究は、都心部に今もなお残る密集市街地とその隣に存在する再開発などによってつくられる中高層市街地とが今後いかに共存していくべきかを研究していくことが目的である。また、近年起こりうる都心での震災における防災にこれらの街が全体として対策をたてられることも目的とする。

2. 活動報告

本年度は、研究をより深化させることを目標にしながらも、研究計画書の改定や微調整を必要に応じて行い、2011年度には東京京島や向島の木造密集市街地のフィールドワークによりその生活環境を調べたり、京都の歴史的な密集地のフィールドワークをおこなった。また、東京中野の再開発の建設現場を実際に見学するなど今後の研究を発展させるための活動を実施した。

3. 研究成果概要

(1) 密集市街地のフィールドワークによる調査

場所:東京京島・向島

期間:2011年6月～7月

調査目的:現在も残る東京の密集市街地の現状とそこで生活する人々の生活を見ていくことで、問題点や課題、そしてその街の特徴を見つけ出す。

調査手法:各住居に面する道幅やアクセスを調べる。

(2) 東京中野駅北口の再開発によって建設中の現場を見学し、今後の街との関係性を調査する。

(3) 調査結果のまとめから、考察を加える。

4. 今後の展望

これらの調査の結果から防災上危険と言われる密集地が現在でも残り続ける要因をみつけだし、生活する上での利点やコミュニティ形成における利点は残しつつ、問題点は再開発などによって形成される街とともに補えるようなまちづくりをおこなっていけるような提案をしてゆく。